

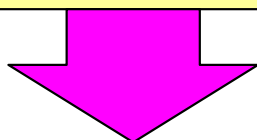
事業名	文化体験プログラム支援事業（地域教育力再生プラン）	
主管課及び関係課（課長名）	（主管課）文化庁文化部芸術文化課（課長：西阪 昇） 生涯学習政策局生涯学習推進課（課長：柴原 靖）	
施策目標及び達成目標	施策目標 8 - 1 芸術文化活動の振興 達成目標 8 - 1 - 6 子どものための芸術文化に触れる機会の提供を継続し、芸術文化の普及活動水準を向上させる	
事業の概要	<p>社会の構造や環境の変化に伴う住民の地域社会への帰属意識の希薄化などにより、近隣住民間の連帯感の欠如や青少年の問題行動の深刻化などを背景とした、子どもたちの安全・安心な遊び場の不足（青少年の異年齢・異世代間交流の不足、青少年の奉仕・体験活動の不足）、スポーツに親しむ機会の減少、多様な文化体験活動に触れる機会の減少等が指摘されており、地域の教育力の再生を図る多様な機会を提供することが国として喫急の課題となっている。</p> <p>このようなことから地域に根差した多様な活動の機会を提供するため、子どもたちが日常生活圏の中で、年間を通じて地域の特色ある様々な文化に触れ、体験できるプログラムを作成し、実施することにより、子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育むことを通じて、地域の教育力の再生を図る。</p> <p>事業形態：委託（対象：民間団体等）</p>	
予算額及び事業開始年度	平成17年度概算要求額：846百万円（平成16年度予算額：425百万円） 事業開始年度：平成14年度	
事業開始時において得ようとした効果	本事業は、子どもたちに気軽に多様な機会に多種の文化に触れあい体験する機会を提供することは、豊かな感性を引き出し心豊かな教育の再興に資するものであり、各市町村が子どもの文化体験を推進すべく地域の活動に即した年間プログラムを作成するために開始された。	
得られた効果	本事業の実施により、次代を担う子どもたちの文化活動への取り組みが活発化するとともに、それらが各地域において定着するきっかけとなっている。 また、市町村と地域の文化団体、文化施設等との連携が強化されることにより、地域文化の振興にも貢献している。	
得ようとする効果	子どもたちの文化体験活動等の様々な活動を通じて地域における交流を進め、コミュニティの再構築を促し、子どもも大人も生き生きとした、豊かで住み良い社会の実現を目指す。	達成年度 平成19年度
必要性	平成14年12月の文化審議会答申「文化芸術の振興に関する基本的な方針について」において、完全学校週5日制の実施を踏まえ、青少年が各地域において多種多様な文化芸術に直に触れ、体験できる機会の充実などが求められている。 また、地域や家庭の教育力の低下を背景として、最近の子どもたちに関わる重大事件の続発など、青少年の問題行動が一層深刻化していることから、地域社会で心豊かな子どもたちを育成する気運の醸成が急務となっている。	
効率性	安全・安心して活動できる子どもの居場所（活動拠点）づくりの支援、地域資源を活用したボランティア活動や、スポーツ及び特色ある様々な文化の体験活動などを一体的に促進することにより、より効率的に地域教育力の再生を図ることができる。	
有効性	効果の把握の仕方（検証の手順）	本事業における実施地域数、プログラム数、参加者数、参加回数や参加者に対するアンケート調査等の分析
	得ようとする効果の達成見込みの判断根拠（判断基準）	本事業の実施により子どもの文化体験活動が推進され、子どもたちの異年齢・異世代間の交流が促進されることにより、地域の活性化が図られる取組みが各地域で行われることをもって、想定された効果が得られるものと判断する。

文化体験プログラム支援事業

子どもたちが日常の生活圏の中で、年間を通じて地域の特色ある様々な文化に触れ、体験できるプログラムを作成、実施(平成16年度:47地域 平成17年度:94地域)

- ・文化に触れあう機会の提供
- ・文化活動への参加意欲の向上

- ・文化の体験・参加等の推進
- ・伝統文化の継承・伝承



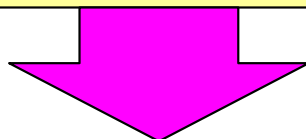
・芸術文化に触れる

・技に触れる

・文化財に触れる

・歴史・風土の再発見

・自然の継承・保全



子どもたちの豊かな人間性と多様な個性を育む



・地域・親子のコミュニケーション、世代間交流



・地域の伝統・文化に親しみ、尊重する心の涵養



・地域文化の振興

